

RDP横浜

依存症家族教育プログラムのご案内

2023年度

依存症に苦しむご家族・ご友人を応援します

[日時] ▶▶▶ 毎月 第4水曜日（12月のみ20日：第3水曜日開催）

14:00～16:00 プログラム

16:00～16:30 質疑応答・個別相談

※初回（4月）オリエンテーション13:30より/最終回（3月）修了式16:30より実施のため30分拡大

[会場] ▶▶▶ RDP横浜

[参加費] ▶▶▶ 1プログラム 3,000円

1クール(全12回) 33,000円(RDP横浜より修了証を授与いたします)

[予約] ▶▶▶ 要予約

[定員] ▶▶▶ 最少4名 最大10～16名(コロナ禍の状況による)

※開催2週間前の時点で4名未満の場合は中止の可能性があります(中止の場合は返金致します)

※ご参加の前にホームページでご確認ください

[対象者] ▶▶▶ ご家族・ご友人・関係者

※尚、依存症者ご本人の参加はご遠慮いただきます



依存症者を抱え、たくさんの不安や悩みに包まれ、絶望の淵に立たされているご家族やご友人たち。

同じ仲間として支えあい、笑顔を取り戻す輪が出来ました。

1人でも多くのご家族・関係者の参加をお待ちしております。



RDP横浜

TEL: 045-595-9867

MAIL: rdp@tulip.ocn.ne.jp

お申込み・お問い合わせ

ACCESS 横浜市神奈川区松本町4-28-16 弘津ビル2F

TEL 045-595-9867

MAIL rdp@tulip.ocn.ne.jp

振込先

《ゆうちょ銀行から振り込む場合》

ゆうちょ銀行 【記号】10290 【番号】84721551

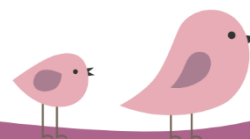
《他金融機関から振り込む場合》

【名義】特定非営利活動法人RDP

【店名】〇二八(ゼロニハチ)

【店番】028 【預金種目】普通預金【口座番号】8472155

RDP横浜依存症家族教育プログラム



長い間依存症者が引き起こす様々な問題行動に振り回されてきた家族は、心身共に困惑、疲弊し、的確な判断とそれに伴う対応が難しくなっています。教育プログラムに参加して病気としての正しい知識との適切な関わり方を身に付け、孤立や不安を軽減し落ち着いた健康的な生活を取り戻すことを目的としています。

また、家族も治療に参加することは、本人の回復に役立つだけでなく、家族自身ももう一度自分自身の生き方を問い直し、解決課題を見出し、自分自身のケアが出来るようになります。そして、自分と当事者との間に境界線が引けるようになり、お互いを大切にしながら、新たな関係性を築くことを目指すようになっていけるでしょう。

※ ここでいう家族とは、血縁関係や婚姻関係にあるものに限定されるものではなく、友人やパートナーシップを結んでいる相手、或いは雇用関係を結んでいるものまで、当事者にとって大切な存在の人たちのことを幅広く意味しています。

特定非営利活動法人RDP理事長

谷川 公一



《 プログラム年間スケジュール 》

A:教育プログラム編 B:実践プログラム編

2023年			
4月26日	A-1	鈴木 伸 (ことぶき共同診療所・医師)	オリエンテーション(別枠:約30分 13:30より) 依存症とは&その治療
5月24日	A-2	小林 桜児 (県立精神医療センター・医師)	依存症と重複障害
6月28日	A-3	佐藤 しのぶ (NFCRノンファミリーカウンセリングルーム代表)	依存症と家族の心理
7月26日	A-4	高橋 郁絵 (原宿カウンセリングセンター・心理)	家族の関わり方 (境界線とイネーブリング)
8月23日	B-1	井上 恭子 (精神保健福祉士)	グループワーク①
9月27日	B-2	小林 千香子 (県立精神医療センター・C/W)	グループワーク②
10月25日	A-5	早間 文穂 (神奈川病院)	回復に繋がるコミュニケーション (コミュニケーションの実践を学びます)
11月22日	B-3	西村 悟 (神奈川病院・心理)	グループワーク①
12月20日	B-4	前園 真毅 (久里浜医療センター・C/W)	グループワーク②
2024年			
1月24日	A-6	青山 久美 (県立精神医療センター・医師)	依存症の親から子供へ (依存症の世代連鎖について)
2月28日	A-7	小林 亜希子 (マインドフルネス心理臨床センター)	相互支援グループの活用とセルフケア
3月27日	B-5	矢田 早苗 (アサーティブ・トレーナー)	気持ちが楽になるコミュニケーション
		唯根 均 (RDP横浜)	修了式 (別枠:約30分 16:30より)

※都合により講師が変更になる場合があります